

中学校給食が中断

給食から髪の毛、ビニル片、虫…。中学校給食が中止になりました。調理していた民間業者が衛生管理基準に違反して契約が解除に。教育委員会は「いくら注意しても改善しない」などと説明しており、調理や配送などの民間委託(デリバリー方式)の問題点が浮き彫りになりました。共産党議員団は自校調理方式を含む安全・衛生面に責任を持てる方法で、早く給食を再開するよう求めています。



月別の異物混入件数

月	2014年度						2015年度					合計
	11	12	1	2	3	計	4	5	6	7	計	
件数	16	1	9	10	8	44	6	5	22	9	42	86

安全・安心な
自校調理へ
転換を



教育委員会へ議員団全員で申し入れ

ゆりかごから墓場まで サービスを後退させる 新「行財政改革」(案)

9月3日、「行財政改革2020」(素案)が公表されました。久元市長のもとでの初の行革プランです。しかし中身は公立幼稚園の廃止、小中学校の統廃合、小学校給食調理や高齢者・障がい者施設、墓園や斎場の民営化をうちだし、子育て世代から高齢者のサービスまで後退させる内容です。「行革」というのなら、廃止されてきた市民サービスを復活させ、空港や医療産業などの大型開発のムダづかいを検証することこそ必要です。

必要なのは保育園

神戸市は「待機児童が解消しました」などと説明しますが、保育園に入れない子がまだいるのが実態です。2歳児までの小規模保育園のこどもたちは、春、無事に次の保育園に入園できるのか、不安をつのらせています。その一方で公立保育所をさらに「再編」するのは矛盾しています。希望するすべてのこどもたちの入園を保証するためにも、公立を含む認可保育園の整備・拡充こそ必要です。

認可保育園の
整備を強く求める
赤田議員



子どもたちに 平和な日本を!!

戦争法 反対の声 さらに強く大きく



本会議で赤田議員は、「安保法制」=戦争法の撤回を国に求めるよう迫りましたが、久元市長は「廃止・撤回を国に求めない」「今後、必要な準備が進められていく」などと、容認する姿勢です。戦争法には空港や港湾などの軍事利用を求める「協力」条項があります。「戦争法廃止、立憲主義を取り戻す」一致点で協力して、平和な港町、神戸を守るために全力でがんばります。



垂水区で

要望していきます

- ▶ **高齢者も障がい者も外出しやすいまちに**
 - 神陵台や明舞団地北部から垂水駅までの直通バス路線の開設
 - 高齢者が多く、外出に不便な地域での移動手段の対策
 - 必要なバス停にベンチや日よけの設置
- ▶ **近くに学校を**
 - 学園南地区に中学校の新設
 - 小中学校、特別支援学校…一方的な学校統廃合を許しません。
- ▶ **舞多間地区の交通渋滞と安全対策**



ベルテ名谷